



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 数臣 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	186,892	9.3	18,326	138.9	18,826	130.2	11,564	140.1
2020年3月期第3四半期	170,983	△2.2	7,672	1.2	8,179	2.7	4,816	10.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	404.88	—
2020年3月期第3四半期	168.61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	242,869	152,677	62.9	5,345.36
2020年3月期	221,037	142,324	64.4	4,982.87

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 152,677百万円 2020年3月期 142,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	19.00	—	20.00	39.00
2021年3月期	—	23.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,000	9.3	19,800	138.0	20,300	126.5	12,100	144.8	423.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	29,784,400株	2020年3月期	29,784,400株
2021年3月期3Q	1,221,812株	2020年3月期	1,221,670株
2021年3月期3Q	28,562,644株	2020年3月期3Q	28,562,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. 補足情報	7
(1) 商品部門別販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、経済再開の動きが一部でみられましたが、未だに国内外での収束見通しがつかない先行き不透明な状況が続いております。

家具・ホームセンター業界におきましても、豪雨災害や記録的な猛暑といった天候不順の影響や、景気低迷による雇用環境の悪化など、依然として厳しい経営環境になっております。

このような状況の中で当社は、各種の感染防止対策、営業時間短縮の継続など、お客様と従業員の安全と健康を確保することを最優先し、店舗の営業を行ってまいりました。

営業の概況としましては、新型コロナウイルス感染対策として、マスクやアルコール除菌商品のほか、アクリルパーテーションが好調に推移しました。また冬物商品については、気温の低下に伴い、空気を汚さず環境にやさしいセラミックヒーターなどの暖房用品が好調に推移したほか、加湿器がPB商品を中心に売上を順調に伸ばしました。そのほかには外出自粛や巣ごもり消費といった新しい生活様式の浸透もあり、収納用品やデスクチェア、ペイントや木材などのDIY用品及び当社の主力部門である園芸用品が好調に推移しました。売上総利益については、PB商品の構成比の高まりが寄与しており、引き続き改善しております。販売費及び一般管理費については、EC売上の拡大等もあって、配送費用やクレジット手数料などが増加している一方、3密回避のため販促を抑制した結果、広告宣伝費及びポイント関連費用などが減少しております。

また、店舗展開については、4店舗の新設及び2店舗の増床を行いました。同時に、3店舗の閉鎖を行いました。これにより、当第3四半期会計期間末における店舗数は34府県に渡る359店舗となりました。

これらの結果、売上高は1,868億92百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は183億26百万円(前年同期比138.9%増)、経常利益は188億26百万円(前年同期比130.2%増)、四半期純利益は115億64百万円(前年同期比140.1%増)となり、増収増益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、外出自粛に伴い園芸用品や木材が好調に推移したほか、防寒ベストなどの作業用品が好調でした。当第3四半期累計期間は、売上高は844億43百万円(前年同期比13.8%増)、売上総利益は305億5百万円(前年同期比19.1%増)、売上総利益率は36.1%となっております。

「生活用品」は、マスクやアルコール除菌商品などコロナ感染対策商品が依然として好調なほか、清掃用品が好調に推移しました。また、直近の第3四半期会計期間では気温低下により暖房用品が好調に推移しました。当第3四半期累計期間は、売上高は502億27百万円(前年同期比7.6%増)、売上総利益は146億45百万円(前年同期比17.0%増)、売上総利益率は29.2%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、在宅勤務等によりデスクチェアなどのニーズが上昇しており、また気温低下によりコタツが好調に推移しました。当第3四半期累計期間は、売上高は371億22百万円(前年同期比6.1%増)、売上総利益は147億70百万円(前年同期比9.0%増)、売上総利益率は39.8%となっております。

「その他」は、車用除菌商品などが好調に推移しましたが、電動自転車など自転車部門が低迷し、前期を下回る結果となりました。当第3四半期累計期間は、売上高は150億98百万円(前年同期比0.2%減)、売上総利益は46億32百万円(前年同期比6.7%増)、売上総利益率は30.7%となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は、2,428億69百万円となり、前事業年度末と比較して218億31百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、1,086億69百万円（前事業年度末比229億30百万円増）となりました。増加の主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末比218億75百万円増）などによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,341億99百万円（前事業年度末比10億98百万円減）となりました。減少の主な要因は、有形固定資産の減少（前事業年度末比9億79百万円減）などによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、778億11百万円（前事業年度末比128億71百万円増）となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（前事業年度末比85億10百万円増）、未払法人税等の増加（前事業年度末比36億2百万円増）などによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、123億80百万円（前事業年度末比13億93百万円減）となりました。減少の主な要因は、長期借入金の減少（前事業年度末比9億9百万円減）などによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、1,526億77百万円（前事業年度末比103億53百万円増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加（前事業年度末比103億36百万円増）などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階では2020年10月28日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,190	46,066
売掛金	2,952	3,805
商品	57,068	56,881
その他	1,528	1,919
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	85,738	108,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	68,700	67,722
土地	48,580	48,524
建設仮勘定	239	561
その他(純額)	3,781	3,513
有形固定資産合計	121,301	120,322
無形固定資産	3,059	3,155
投資その他の資産	10,937	10,722
固定資産合計	135,298	134,199
資産合計	221,037	242,869
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,116	36,626
短期借入金	20,905	20,465
1年内返済予定の長期借入金	1,496	1,317
未払法人税等	2,237	5,839
未払金	3,904	4,363
設備関係支払手形	2,112	2,466
賞与引当金	1,003	500
役員賞与引当金	28	-
ポイント引当金	1,179	1,091
資産除去債務	119	19
その他	3,837	5,121
流動負債合計	64,939	77,811
固定負債		
長期借入金	1,793	883
退職給付引当金	3,148	3,113
役員退職慰労引当金	1,028	361
資産除去債務	5,620	5,807
その他	2,181	2,214
固定負債合計	13,773	12,380
負債合計	78,713	90,191

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	136,853	147,189
自己株式	△2,350	△2,351
株主資本合計	142,263	152,600
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60	77
評価・換算差額等合計	60	77
純資産合計	142,324	152,677
負債純資産合計	221,037	242,869

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	170,983	186,892
売上原価	114,956	122,339
売上総利益	56,026	64,553
販売費及び一般管理費	48,354	46,226
営業利益	7,672	18,326
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	10
受取手数料	140	136
受取家賃	350	371
受取保険金	227	141
その他	127	199
営業外収益合計	856	859
営業外費用		
支払利息	105	91
不動産賃貸原価	136	141
災害による損失	82	98
その他	24	27
営業外費用合計	348	359
経常利益	8,179	18,826
特別利益		
固定資産売却益	18	11
受取保険金	-	124
特別利益合計	18	135
特別損失		
固定資産除却損	70	34
減損損失	267	48
災害による損失	-	197
賃貸借契約解約損	28	-
その他	0	-
特別損失合計	367	280
税引前四半期純利益	7,830	18,682
法人税等	3,014	7,118
四半期純利益	4,816	11,564

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日) (至 2019年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日) (至 2020年12月31日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	74,190	43.4	84,443	45.2	113.8
生活用品	46,684	27.3	50,227	26.9	107.6
家具・ホームファッション用品	34,973	20.5	37,122	19.9	106.1
その他	15,134	8.8	15,098	8.0	99.8
計	170,983	100.0	186,892	100.0	109.3

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他